

第 76 回全日本中学校長会研究協議会香川大会

宣 言

今日、我が国の教育は人格の完成を目指し、伝統と文化を尊重するとともに、豊かな人間関係で満たされる持続可能な社会の創り手を育成する使命を担っている。

全日本中学校長会は、自然災害や新たな感染症の発生、グローバル化の進展や急速な技術革新など社会状況が変化する中、新しい時代の中学校教育の課題に対応し、教育基本法をはじめとする教育関連法規や学習指導要領の趣旨を踏まえ、「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」を目指し、国民の負託に応えなければならない。

私たちは、人間尊重の精神に徹し、自らの責任において全日中新教育ビジョンに基づく学校からの教育改革の推進と当面する諸課題の解決に努め、新たな中学校教育を創造していく決意である。

ここに、第 76 回全日本中学校長会研究協議会香川大会に当たり、「育てよう 生きる力 創ろう 新たな時代の教育を 海とアートの香川から」のスローガンの下、次の事項を決議し、その実現を期する。

決 議

- 一、 人間尊重の精神に徹し、「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」を育む教育を推進する。
- 一、 全日中新教育ビジョンを踏まえ、学習指導要領に基づく特色ある教育課程を編成・実施・評価・改善し、確かな学力の定着、豊かな心と健やかな体の育成を推進する。
- 一、 現在の学校教育課題に即した研修を充実し、教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。
- 一、 創意ある教育活動を展開し、家庭・地域社会の信頼に応える教育を実現するため、人的措置をはじめ確固とした教育条件の整備・充実を期する。
- 一、「教科書無償給与制度」「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を要請し、教育水準の維持向上を期する。
- 一、 新しい時代に求められる学校づくりに向けてリーダーシップを発揮するとともに、「学校における働き方改革の推進」「教員の勤務実態を踏まえた環境整備」を要請し、有効かつ持続可能な指導・運営体制の構築を期する。
- 一、 東日本大震災をはじめ、能登半島地震など近年多発する自然災害等により被害を受けた地域の復興を期し、教育活動の充実に向けた支援と全国各地区・各学校における防災教育・安全教育の一層の充実に努める。

令和 7 年 10 月 24 日

第 76 回全日本中学校長会研究協議会香川大会